

記入例

【両面印刷不可】

2A 家庭状況申立書(1-1)

※学生本人が記入する(保護者の代筆不可) 本人が記入できない事情の者は申し出る

後期

※極太線の枠内を漏れなく記入し、○を付ける(色付きの欄には記入しないこと)

申請理由 ①入学時期超過 <高校卒業(大学検定合格):平成 年 月> ②修業年限超過 < 年度に留年> ※休学は対象外
 ③昨年度までの累積取得単位数が標準単位 申請理由に○を付ける(学部生は①~⑤へ、大学院生は⑥へ) 年度の学年 >
 ④家計基準 <収入超過> 資産超過 > ⑤第三区分(本学基準で全額免除となる可能性がある) ⑥大学院生

| | | | | | | | |
|--------|-----|-----|--------|------|--------|-------|----------------------|
| 研究部科 | 医学部 | 学年 | 6 | 学籍番号 | 123456 | 氏名 | 名古屋 ひかり |
| 家族の連絡先 | | 氏名: | 名古屋 花子 | 続柄: | 母 | 電話番号: | 090-111-1111 自宅 (携帯) |

R6年度<前期> 全額免除 1/2額免除 1/4額免除 不承認 入学前 (申請せず(理由に○))
 本学減免状況 理由 [国の制度対象で独自制度対象外だった・書類不備で不受理・忘れていた・制度を知らなかった・経済的に問題なかった・他]

| 続 | 住所 | 勤務先名称 | 勤続期間 |
|------|---|--|-----------------------|
| 1 人 | 独立世帯の者は、学振特別研究員・アルバイト等を必ず記入し、独立世帯に○を付ける 名古屋瑞穂区瑞穂町字山の畑1 職業者は記入不要 | 熟・講師 社会大学生・独立世帯 給与所得者・年金受給・自営業 | R4年1月 から 就職・離職 |
| 2 父 | 名古屋 一郎 愛知県愛知郡愛知町1-1 | 飲食店経営 給与所得者・年金受給・自営業 生活保護費受給・失業給付受給 | H10年4月 から 就職・離職 |
| 3 母 | 名古屋 花子 (○年○月死別) | 同上 年金等、手当受給中の者は、受給開始年月を必ず記入する | H10年4月 から 就職・離職 |
| 4 祖父 | 愛知 はやて 愛知県愛知郡愛知町3-3 特別養護老人ホーム 愛知の里 | 乳幼児(学生以外)(18歳未満、18~59歳、60歳以上)・学生 給与所得者・年金受給・自営業 | R3年10月 から 就職・離職 |
| 5 兄 | 名古屋 こだま 父母と同じ | 乳幼児(学生以外)(18歳未満、18~59歳、60歳以上)・学生 給与所得者・年金受給・自営業 | R4.5.1 就職・離職 |
| 6 妹 | 名古屋 みずほ 同上 | 乳幼児・学生以外(18歳未満、18~59歳、60歳以上)・学生 給与所得者・年金受給・自営業 | 就職・離職 |
| 7 妹 | 名古屋 さくら 同上 | 乳幼児・学生以外(18歳未満、18~59歳、60歳以上)・学生 給与所得者・年金受給・自営業 | 就職・離職 |
| 8 | | 乳幼児・学生以外(18歳未満、18~59歳、60歳以上)・学生 給与所得者・年金受給・自営業 | 就職・離職 |

2 経済援助
 A 離別した父又は母からの経済的援助等(生活費・教育費・養育費・祝い金等、金銭の授受全て) 有・無 続柄 援助等の額(月額・年額) 円 A
 B 別生計(別居)の兄弟姉妹・祖母等からの経済的援助(仕送り等) 有・無 氏名(続柄) 名古屋はやぶさ (兄) 援助等の額(月額・年額) 10,000 円 B

| 番号 | 続柄 | 給与収入(万円) | 年金収入(万円) | 経済援助額(万円) | 左記以外の収入(万円) | 収入合計(万円) | 所得換算(万円) | 自営所得(万円) | 配当・不動産等(万円) | 所得合計(万円) |
|----|-----|----------|----------|-----------|-------------|----------|----------|----------|-------------|----------|
| 2 | 父 | | | | | | | | | (ア) |
| 3 | 母 | | | | | | | | | (イ) |
| 1 | 本人 | | | | | | | | | (ウ) |
| 5 | 配偶者 | | | | | | | | | (エ) |
| | | | | | | | | | | (オ) |

大学記入欄(色付き部分)は 記入不要

合計所得金額 (ア)~(オ)合計 ①(ア)~(オ) 非

【両面印刷不可】

2A

家庭状況申立書(1-1)

※学生本人が記入する(保護者の代筆不可) 本人が記入できない事情の者は申し出る

後期

※極太線の枠内を漏れなく記入し、○を付ける(色付きの欄には記入しないこと)

申請理由 ①入学時期超過 <高校卒業(大学検定合格):平成 年 月> ②修業年限超過 < 年度に留年> ※休学は対象外
③昨年度までの累積取得単位数が標準単位数未満 <卒業必要単位数(履修要項で確認すること)÷昨年度の学年>
④家計基準 < 収入超過 ・ 資産超過 > ⑤第三区分(本学基準で全額免除となる可能性がある) ⑥大学院生

研究部科: 修士・博士・博士前期・博士後期 学年: 学籍番号: 氏名:
家族の連絡先 氏名: 続柄: 電話番号: 自宅・携帯

R6年度<前期> 全額免除 ・ 1/2額免除 ・ 1/4額免除 ・ 不承認 ・ 入学前 ・ 申請せず(理由に○)
本学減免状況 理由〔国の制度対象で独自制度対象外だった・書類不備で不受理・忘れていた・制度を知らなかった・経済的に問題なかった・他〕

Table with 5 columns: 続柄番号, 氏名(障害:有・無, 年齢), 住所(自宅・自宅外), 該当区分・勤務先名称(職業等)自営・会社員等の別, 勤続期間(就職日・離職日等). Rows 1-8 for family members.

2 経済援助 A 離別した父又は母からの経済的援助等(生活費・教育費・養育費・祝い金等、金銭の授受全て) 有・無 続柄 援助等の額(月額・年額) 円 A
B 別生計(別居)の兄弟姉妹・祖母等からの経済的援助(仕送り等) 有・無 氏名(続柄) 援助等の額(月額・年額) 円 B

Table with 10 columns: 番号(続柄), 給与収入(万円), 年金収入(万円), 経済援助額(ABの額)(万円), 左記以外の収入(万円), 収入合計(万円), 所得換算(万円), 自営所得(自営・農林漁業), 配当・不動産等(その他の所得), 所得合計(万円). Rows for family members and spouse.

合計所得金額 (ア)~(オ)合計

①(ア)~(オ)

非 非 非 非 非 非